

小型警ら車（EV）軽自動車の導入について

1 要旨・目的

- (1) 国と県が取り組む温室効果ガス削減の一環として導入する。
- (2) 狭路の多い島しょ部等における、警察活動の機動性を確保する。

2 現状・背景

小型警ら車は、交番、駐在所等に183台配備

（内訳：ガソリン車171台、HV車10台、EV車2台）

3 概要

(1) 事業内容（実施内容）

廿日市警察署宮島駐在所と竹原警察署大崎駐在所に配備

(2) スケジュール

ア 廿日市警察署宮島駐在所…令和7年3月25日に配備

イ 竹原警察署大崎駐在所…令和7年3月26日に配備

(3) 予算（単県）

3,594,470円

【導入車両】

日産 サクラ 2WD 20kWh バッテリー搭載

定員 4人

走行可能距離 約180km（満充電時）

普通充電2.9kW 満充電まで約8時間（1時間の充電で約20km走行可能）

4 その他

(1) 散光式警光灯

令和6年度配分の国費車両で採用した聴覚障害者に配慮した散光式警光灯を搭載

(2) 捜査用車（EV）軽自動車

令和6年12月に広島南警察署、尾道警察署因島分庁舎へ同型車種を各1台納入し、運用を開始している。

(3) 今後の導入

走行実態を踏まえ、地域警察活動において支障が出ないかを総合的に勘案したうえで、導入を検討する。

